

事項立て研究課題一覧

研究課題名	研究期間										分科会 担当部会	
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7		
水防活動支援技術に関する研究		■	■	■							H29～R1	第一部会
避難所における被災者の健康と安全確保のための設備等改修技術の開発		■	■	■							H29～R1	第二部会
建築物のエネルギー消費性能の向上を目指したファサード設計法に関する研究		■	■	■							H29～R1	第二部会
多様化する生活支援機能を踏まえた都市構造の分析・評価技術の開発		■	■	■							H29～R1	第二部会
地震火災時の通行可能性診断技術の開発		■	■	■							H29～R1	第二部会
地震災害時における空港舗装の迅速な点検・復旧方法に関する研究		■	■	■							H29～R1	第三部会
下水道管路を対象とした総合マネジメントに関する研究		■	■	■							H30～R2	第一部会
大規模地震に起因する土砂災害のプレアナリシス手法の開発		■	■	■							H30～R2	第一部会
建築物の外装・防水層の長寿命化改修に資する既存RC部材の評価技術の開発		■	■	■							H30～R2	第二部会
ライフステージに即したバリアフリー効果の見える化手法の確立		■	■	■							H30～R2	第二部会
緑地等による都市環境改善効果の定量的評価手法に関する研究		■	■	■							H30～R2	第二部会
大規模地震時の港湾施設の即時被害推定手法に関する研究		■	■	■							H30～R2	第三部会
液化化等により被災した管路に関する情報収集及び傾向分析		■	■								H30～R1	第一部会
地下水位のリアルタイム観測手法に関する検討		■	■								H30～R1	第一部会
地震と洪水の複合災害リスクマップの作成・提供		■	■								H30～R1	第一部会
高潮と豪雨による複合型浸水発生時の減災対策のための浸水予測システム開発		■	■								H30～R1	第一部会
危機管理型波浪うちあげ高観測技術の開発に関する研究		■	■								H30～R1	第一部会
インフラ等の液化化被害推定手法の高精度化		■	■	■							H30～R2	第一部会
重要インフラの即時被害検知・強震モニタリングシステムの開発		■	■	■							H30～R2	第一部会
避難・水防に即応可能な情報伝達のための決壊覚知・氾濫実況予測に関する研究				■	■						R1～2	第一部会
地震を受けた拠点建築物の健全性迅速判定技術の開発				■	■	■					R1～3	第二部会
地方都市における都市機能の広域連携手法に関する研究				■	■	■					R1～3	第二部会
沿岸域における環境保全技術の効果的活用のための評価手法の開発				■	■	■					R1～3	第三部会
コンテナ船の定時性向上に資するターミナル混雑度指標の開発				■	■	■					R1～3	第三部会
下水処理場の応急復旧対応を再現可能な下水処理実験施設整備および検討				■	■						R1～2	第一部会
下水道管路の防災・減災技術の開発に関する実態調査				■	■						R1～2	第一部会
免疫性を考慮した降雨指標に応じた崩壊生産土砂量の予測に関する検討				■	■						R1～2	第一部会
斜面・対策施設下部が全面的に水没した場合の崩壊危険度の評価手法の検討				■	■						R1～2	第一部会
洗掘の被害を受ける可能性が高い道路橋の抽出と改造マニュアルの開発				■	■						R1～2	第一部会
建築物の外装材及び屋根の耐風性能向上に資する調査研究				■	■						R1～2	第二部会
現場の環境変化を考慮した土木施工の安全対策の高度化に関する研究					■	■	■				R2～4	第一部会
非住宅建築物の防火性能の高度化に資する新しい性能評価指標および評価プログラムの開発					■	■	■				R2～4	第二部会
空き家の管理不全化に対する予防的対策効果の定量化に関する研究					■	■	■				R2～4	第二部会
災害後における居住継続のための自立型エネルギーシステムの設計目標に関する研究					■	■	■				R2～4	第二部会
スマートシティ推進支援のための主要な都市問題解決に係る計画評価技術の開発					■	■	■				R2～4	第二部会
自動運転空港除雪車両の導入に関する研究					■	■	■				R2～4	第三部会
下水道を核とした資源循環システムの広域化・共同化に関する研究						■	■	■			R3～5	第一部会
氾濫シナリオ別ハザード情報図に基づく減災対策検討手法の研究						■	■	■			R3～5	第一部会
土砂・洪水氾濫発生時の土砂到達範囲・堆積深を高精度に予測するための計算モデルの開発						■	■	■			R3～5	第一部会
既存建築物における屋根ふき材の耐風診断・補強技術評価に関する研究						■	■	■			R3～5	第二部会
浴槽レス浴室のバリアフリー基準に関する研究						■	■	■			R3～5	第二部会
都市関連データのオープン化と利活用の推進に関する研究						■	■	■			R3～5	第二部会
国際海上コンテナ背後輸送の効率化方策に関する研究						■	■	■			R3～5	第三部会

凡例

■: 研究期間 ■: 第一部会 評価対象課題(事前・終了時) ■: 第二部会 評価対象課題(事前・終了時) ■: 第三部会 評価対象課題(事前・終了時)

令和2年度 第〇回国土技術政策総合研究所 研究評価委員会分科会（第〇部会）
 評価用紙

評価者	
評価日	

課題名

研究期間

研究代表者

<評価の視点と項目>

必要性、効率性、有効性について、以下の観点を踏まえ、国総研にて実施すべきか事前評価を行う。
 【必要性】科学的・技術的意義、社会的・経済的意義、目的の妥当性等
 【効率性】計画・実施体制の妥当性等
 【有効性】新しい知の創出への貢献、社会・経済への貢献等

<評価の結果>

評価項目	評価指標	コメント
必要性を踏まえた目的と研究内容の妥当性	1 適切である 2 概ね適切である 3 やや適切でない 4 適切でない	
効率性を踏まえた研究内容の妥当性	1 適切である 2 概ね適切である 3 やや適切でない 4 適切でない	
有効性を踏まえた研究内容の妥当性	1 適切である 2 概ね適切である 3 やや適切でない 4 適切でない	

<総合評価>

※上記を踏まえ、実施すべきか、一部修正して実施すべきか、再検討すべきかについて、何れかに○を記載願います。

①実施すべき / ②一部修正して実施すべき / ③再検討すべき

※研究を実施するに当たっての留意事項等、その他特筆すべき点がございましたら記入願います。

令和2年度 第〇回国土技術政策総合研究所研究評価委員会分科会（第〇部会）
 評価用紙

評価者	
評価日	

課題名

研究期間

担当研究部

<評価の視点と項目>

研究課題毎に、必要性、効率性、有効性の観点を踏まえ、「研究の実施方法と体制の妥当性」「目標の達成度」について終了時評価を行う。
 【必要性】科学的・技術的意義、社会的・経済的意義、目的の妥当性等
 【効率性】計画・実施体制の妥当性等
 【有効性】目標の達成度、新しい知の創出への貢献、社会・経済への貢献、人材の育成等

<評価の結果>

評価項目	評価指標（何れかに○を記載願います。）	コメント
研究の実施方法 と体制の妥当性	1 適切であった 2 概ね適切であった 3 やや適切でなかった 4 適切でなかった	
目標の達成度	1 目標を達成することに加え、目標以外の成果も出すことができた。 2 目標を達成できた 3 あまり目標を達成できなかった 4 ほとんど目標を達成できなかった	

その他特筆すべき点がございましたらご記入願います。
 （目標設定の妥当性、研究成果の活用方針、科学的・技術的意義等）

※評価に当たっては<評価の結果>の評価指標欄のいずれかに○を付けていただき、その補足としてコメントをご記入願います。評価項目の評価の他に必要に応じて「その他特筆すべき点」にご記入願います。